

防災よこすか

第 66 号



写真提供 横須賀写真ライブラリ

「衣笠さくら祭り」

「日本のさくらの名所 100 選」に選ばれる人気のスポット、「衣笠山公園」で開催される衣笠さくら祭。夜は山頂付近がライトアップされ、夜桜見物も楽しめます。

会長あいさつ



横須賀危険物安全協会

会長 渡辺 晴夫

輝かしい平成 28 年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

当協会の皆様におかれましては、日頃から危険物施設の保守管理や保安教育など危険物災害の防止にご尽力頂いておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

また、横須賀市消防局を始めとした関係諸機関の皆様におかれましては、日頃から当協会及び会員事業所に対してご指導ご鞭撻を賜り、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年の災害・事故を振り返りますと、自然界では桜島や口永良部島、神奈川県内でも箱根大涌谷での火山活動の活発化など、一昨年の御嶽山に始まり日本列島の地下全体が活動期になったかのような大変異常な自然現象が発生しました。その他にも関東北部での集中豪雨などが発生し、多くの被害を受けました。これらの自然災害は発生そのものを抑えるということは不可能ですが、「防災」、「減災」という備えをすることは可能ですので、自らの身を守るための準備を常に怠らないことが被害の軽減のためには非常に重要であるということを思い知らされました。

また、自然災害ではありませんが、年明け早々にはスキーバスの転落事故が軽井沢で発生しました。この事故により将来の日本を担うべき 15 名の若者達が命を奪われてしまいました。事故原因の詳細や、バス運行会社など関連企業の法令違反の有無等については関係当局により調査中ではありますが、安全に掛けるべきコストを削減したことが事故を起こした大きな要因であるのではないのでしょうか。利益を追求するあまり安全を軽視した結果、人命が失われてしまっは元も子もありません。人の命は何よりも尊いのです。この事故は危険物を取扱う我々にとっても決して無関係ではありません。我々も決して安全を軽視せず、日々の保安活動・安全管理・法令遵守に注力しなければ取り返しのつかない事故を起こしてしまうでしょう。

幸いにも昨年中は本市においては、会員事業所の皆様のおかげをもちまして、危険物を起因とする重大な事故は発生しませんでした。今後も「安全・安心」を維持するためにも横須賀危険物安全協会として保安に関する様々な普及・啓発活動に積極的にチャレンジしていきたいと思ひます。

平成 28 年は協会創立 50 周年という節目の年であります。この輝かしい年をより充実した 1 年とするべく、協会運営に全力で傾注してまいりますので、会員事業所の皆様にはより一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が災害のない平和な年でありますとともに、皆様方のますますのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成 27 年秋季火災予防運動

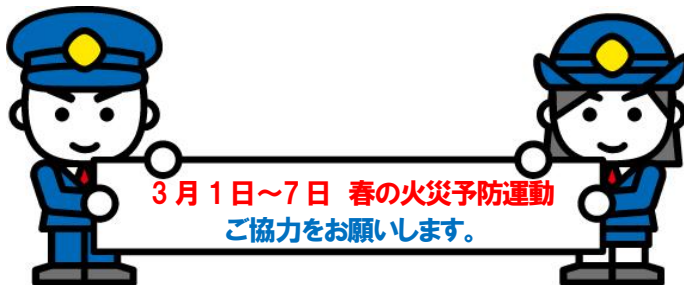
平成 27 年 11 月 9 日から 15 日まで、全国一斉に「秋の火災予防運動」が実施されました。

火災予防運動におきましては、会員事業所皆様にはポスターの掲示等啓蒙活動にご協力くださいまして感謝申し上げます。

また、期間中には横須賀市内の各駅において、役員の方々にご協力いただき、駅前街頭広報を実施いたしました。

こども防災大学の卒業生や婦人防火クラブの方々の参加もあり、駅を利用される方などに住宅火災警報器広報用ティッシュやパンフレット等を配布し、防火広報をすることができました。

ご協力いただいた皆様、ご多忙の中誠にありがとうございました。



視察研修記

湘南菱油株式会社

川村 昌也

平成28年の新春を迎えられ会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年10月21日に横須賀危険物安全協会主催の視察研修に参加させていただきました。私は以前3年前に参加させていただき以来、久しぶりの視察研修ということで、緊張の中、研修に参加させていただきました。

横須賀中央を9:30に出発し、渡辺会長や北消防署福島署長からご挨拶をいただき、参加者30名の自己紹介、そして危険物に関する車内研修が行われ、最初の目的地の日本科学未来館に到着致しました。ここは、今世界に起きていることを科学の視点から理解し、私たちがこれからどんな未来を作っていくかを考え、語り合う場だそうです。伺うまでは、子供向けではと思っていたのですが、非常に驚きました。IPS細胞や、核融合など、最先端の科学についてもものすごく分かりやすく展示されていて、プラネタリウム等もあり大人でも楽しめ、勉強になる施設でした。

その後、東京シーフォートで、昼食を取り、次の見学場所の靖国神社へと向かいました。靖国神社に向かうときにバスの中でガイドさんが、いろいろ案内してもらいながら、素晴らしい歌も聞き、到着し見学致しました。

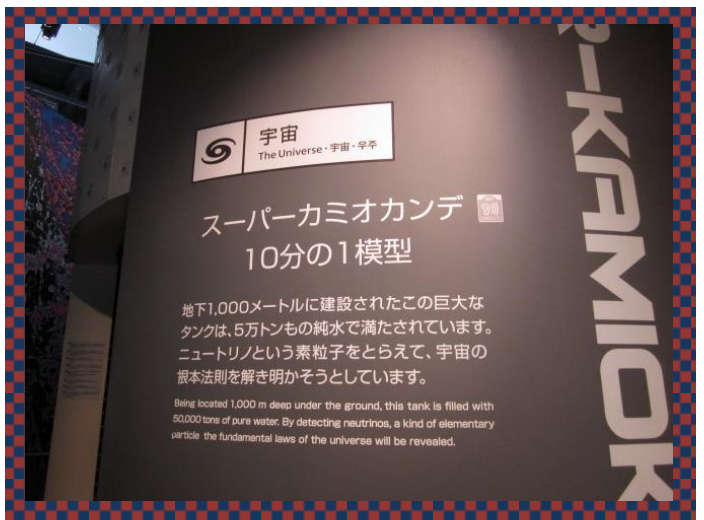
夕食は、横浜の中華街で親睦会が開かれ、美味しい中華料理とお酒を堪能し、皆さんと親睦を深めることができ、有意義な視察研修を終えることができました。

最後に、この有意義な視察研修の計画をしていただいた渡辺会長を初め、事務局の皆様方に感謝を申し上げますと共に、今年も会員の皆様の無事故・無災害と横須賀危険物安全協会の更なる発展を祈念いたしまして、視察研修記とさせていただきます。



平成 27 年 10 月 21 日
視察研修参加者名簿(敬称略)

事業所名	氏名
横須賀市北消防署長	福島 和弘
湘南菱油株式会社	渡辺 晴夫
八巻興業株式会社	八巻 敏博
日産自動車株式会社追浜工場	菅 隆
株式会社グローバル・ニュークリア・ フュエル・ジャパン	杉本 光春
	蓮池 充
株式会社井出運輸商事	宮川 清
横須賀市東部漁業協同組合	内藤 克己
横須賀支所	我妻 和也
馬淵物流株式会社	家藤 守雄
	後藤 彰
同和化学株式会社	石黒 和之
株式会社岡村製作所 追浜事業所	和田 吉一
日触物流株式会社 追浜営業所	阿部 幸治
湘南菱油株式会社	岸本 光之
	川村 昌也
有限会社小山防災	小山 陽生
(株)京急ショッピングセンター ウイング久里浜SC事務所	石井 晃
株式会社京急ファインテック	佐々木 正志
有限会社レストランマミー	小泉 恒子
シンジーテック株式会社	藤井 慎平
株式会社柳田エンジニアリング	鈴木 教男
一般財団法人電力中央研究所 横須賀運営センター	島畑 宣志
	金澤 拓也
社会福祉法人 日本医療伝道 会 衣笠病院	柳井 芳明
	二階堂 示範
事務局	田中 晃
事務局	友松 豊
事務局	佐野 孝治
事務局	塚田 洋平



平成 28 年横須賀市消防出初式

去る 1 月 10 日（日）、うみかぜ公園（横須賀市平成町 3 - 23）で行われた「平成 28 年横須賀市消防出初式」式典において、永年に亘り危険物関係法令を遵守し、危険物施設の安全管理と防火思想の普及に努め、火災予防に尽力された功績により、当協会員からは次の方々が表彰されました。

★横須賀市長表彰 優良危険物取扱事業所

- 株式会社横浜岡田屋
横須賀モアーズシティ 様
- カルソニックカンセイ株式会社
追浜工場 様
- 生化学工業株式会社 久里浜工場 様

★横須賀市消防局長表彰 優良危険物取扱事業所

- 学校法人 神奈川歯科大学 様
- 東海交通株式会社 様
- 池内精工株式会社 様

★横須賀危険物安全協会長表彰優良危険物取扱者

- 社会福祉法人阿部陸会 共楽荘
- 日産自動車株式会社 追浜工場
- 日産自動車株式会社 追浜工場
- 東邦化学工業株式会社 追浜工場
- 社会福祉法人湘南福祉協会 総合病院湘南病院
- 湘南菱油株式会社 スタンド部
- 湘南菱油株式会社 大矢部営業所
- 京浜急行電鉄株式会社金沢文庫保線区



荻野 則夫 様
土屋 繁 様
松尾 秀一 様
高井 吉浩 様
牛山 雅也 様
北川 政樹 様
石橋 孝一 様
濱田 伸一 様



受賞謝辞

株式会社 横浜岡田屋
横須賀モアーズシティ
管理グループリーダー 真辺 祐太 様

平成28年1月10日に挙行されました横須賀市消防出初式に於いて優良危険物取扱事業所として横須賀市長表彰を頂きまして弊社事業所スタッフ一同大変に光栄であり、うれしく思っております。これも日頃よりご指導頂いている横須賀市消防局や中央消防署をはじめ危険物安全協会、関係諸団体の皆様のお蔭であり、心より感謝申し上げます。

弊社、モアーズシティを運営している横浜岡田屋は2015年11月23日に創業125周年を迎え「変わらないのは、変わることを」を合言葉に地域に根差し、お客様のニーズにいつでも応えられるよう常に変化を求めています。

また、横須賀モアーズシティに於いては2017年10月にはいよいよ20周年を迎えることとなります。危険物の取り扱いや防災設備のメンテナンス等これまで以上に防火防災面に留意し、地域の皆様が安心してお買い物を楽めるショッピングセンターを目指していく所存で御座います。今後とも皆様の変わらぬご指導ご鞭撻の程賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



写真 市長表彰受賞者（向かって左から）

メルキュールホテル横須賀	有元 一也 様
ぎんのすず幼稚園	小出 真堂 様
宗教法人孝道山本仏殿	
葉山練成道場	坂谷内 悟 様
株式会社横浜岡田屋	
横須賀モアーズシティ	真辺 祐太 様
カルソニックカンセイ株式会社	
追浜工場	本郷 哲男 様
生化学工業株式会社 久里浜工場	菅原 広文 様

記念品配布所を開設

出初式会場のふれあい広場において、当協会の記念品配布所の開設し、風船約500個を来場された方々に配布して火災予防を呼びかけました。

ご協力いただいた皆様、ご多忙の中誠にありがとうございました。



協会員だより

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

施設課営繕係長 石戸 良治

横須賀共済病院は、1906年3月（明治39年）に横須賀海軍工廠職員の診察を目的として、横須賀海軍工廠職工共済会医院として開設されました。第二次世界大戦後、職域病院から一般市民に開放し、横須賀市、三浦半島における中核病院として数々の名称変更を重ね、現在の国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院になりました。



沿革（一部）

- ・1906年3月 横須賀海軍工廠職工共済会医院として開設
- ・1909年4月 横須賀海軍工廠職工共済会病院と改称
- ・1918年4月 海軍共済組合横須賀病院と改称
- ・1929年11月 横須賀海軍共済組合病院と改称
- ・1943年4月 横須賀海軍共済病院と改称
- ・1945年12月 終戦により財団法人共済協会へ承継、横須賀共済病院と改称

その関係で、横須賀共済病院は、今でも「共済会」と呼ばれ親しまれています。

病院の規模としては、許可病床数 747 床・職員数 1,450 人の総合病院です。

当院は、神奈川県 DMAT 指定病院ですので、東日本大震災（2011年3月）及び東日本暴雨（2015年9月）には、横須賀共済病院 DMAT（災害派遣医療チーム）が出動し活躍しました。

また、神奈川県災害医療拠点病院でもありますので、防災訓練では、災害想定を決めて患者受入れの為のトリアージ訓練（患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定して選別を行う）等を、熱心に訓練を行っています。

危険物につきましては、ボイラー及び冷温水発生器（冷暖房）の燃料は、都市ガス（中圧）を使用していますが、停電時に非常発電設備（4基）で運転する為の燃料として、A重油を使用し3日間運転できる量を備蓄管理しています。

院内のコンセントは、3色（白・赤・緑）で、使用目的により分かれています。普段はどのコンセントも通電されていますが、白コンセント（一般用）は停電時使用不可・赤コンセント（医療用）は停電時発電設備が運転されて使用可・緑コンセント（OP室・集中治療室等）は常時バッテリーから送電されていますので無停電です。

最後になりますが、横須賀危険物安全協会の今後のご発展と会員の皆様方のご多幸・ご活躍をお祈り申し上げます。

横須賀生コンクリート株式会社

協会員だより

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

弊社は、昭和 38 年に横須賀市・三浦市の建材店 8 社が発起人となり、新倉亨を社長として、三浦半島最初の本格的生コンクリート会社を衣笠町に設立しました。

平成 23 年 8 月に横須賀小野田レミコン株式会社(横須賀市船越町 1-284)と統合し、横須賀生コンクリート株式会社として営業を開始いたしました。横須賀小野田レミコン株式会社の設備などを継承し、平成 25 年 9 月に新たに事務所・バッチャープラントを全面建て替えました。

船越町に移転した事で、横須賀市・葉山町・逗子市・鎌倉市・金沢区など様々な地域に生コンクリートを納入する事になり、新たな地域で必要とされる工場となるよう日々努力しております。



当工場では、建築関係におきましてはマンションを建設する為の杭・基礎・躯体から住宅の基礎まで、土木関係におきましては道路改良舗装・河川維持改修・急傾斜地崩壊対策など幅広い用途に対応していく為、安全面・品質面・信頼面の優れた生コンクリートを製造しています。

今後とも横須賀市消防局や、横須賀危険物安全協会の皆様に積極的に協力して防災活動に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。

協会員だより

相模運輸倉庫株式会社

取締役 鈴木 稔



当社は、明治19年に横須賀で個人商店として創業してから、今年で130周年を迎えます。当時の横須賀は、人口1万人程度でありながら、明治17年に日本海軍の横須賀鎮守府が設置され、また明治22年には横須賀線が突貫工事により開通し、海軍ブームで活気づいていた時代と聞いています。その頃の日本海軍の艦船は、石炭を燃料としていましたので、貨物船で積んできた石炭を沖取りして、はしけで貯炭場まで回漕し担いで揚げる、それを艦船に積む

ときは貯炭場から逆の経路をとる訳ですが、これが先代達の仕事のスタートでした。当社は、戦前まで日本海軍の発展と軍港横須賀の拡大により成長を遂げてきました。

現在では、東京湾を囲む横須賀、横浜、川崎、東京、千葉の各港と、神戸市、福島県相馬港に営業拠点を配するほか、内陸部の群馬県太田市、東京都武蔵村山市、神奈川県綾瀬市に天井走行クレーンを備えた重厚長大型の貨物保管ができる倉庫を配しております。また、海外ネットワークやタイの現地法人なども加えて、お客様のあらゆる物流ニーズに対応しています。

横須賀は、現在も当社発祥の地として、港湾、倉庫、運輸の3本柱で地元企業様をはじめ、地域の皆様方に貢献できるよう努力を重ねております。

近年は、特に横須賀新港埠頭での完成自動車の輸出船積みが好調です。田浦地区の倉庫は全10棟で、延床面積48,940㎡ございますが、大部分が旧海軍施設の歴史的建造物が多いため、消防設備や防火対策等について日頃より北消防署、横須賀危険物安全協会の皆様からご指導を頂き、心より感謝致しております。

今後も防災活動に努めて参りますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



協会員だより

佐島マリーナ株式会社
マリーナ部ハーバースター
課長 金森 信治

佐島マリーナは、昭和40年に俳優の森繁久弥が、小規模マリーナとして設立、昭和46年に日産自動車㈱の90%出資による、佐島マリーナ株式会社として発足、昭和47年に新社屋、構内施設完成後直ちに営業開始、昭和55年日産自動車㈱全額出資の子会社として平成27年8月まで営業、同年9月㈱ユニマツトプレシヤスに株主が変更となり、ユニマツトマリーナ佐島マリーナとして営業、現在に至っております。

弊社は、三浦半島の一角に位置し、相模湾を抱え、大島、伊豆半島、富士山、江ノ島が一望できるロケーションで御座います。気分爽快なクルージング、釣りの醍醐味を満喫して戴いております。全国で唯一ホテルを備えたマリーナでもあります。ホテル施設は客室が28室あり、約100名様宿泊が可能です。



サウナ付の展望露天風呂は、海が一望できリフレッシュに最高です。夏季はプールも営業しており、こちらも相模湾を眼下に望め素晴らしい見晴らしとなっております。3階のレストラン「ベイサイドレストランカフェモア」では、海産物を中心とした料理が楽しめられ、ご家族連れやグループ会合、宴会等と目的に応じたサービスを提供させて頂き、ご好評を得ております。マリーナ施設は、舟艇150隻の保管能力があり、弊社唯一の全国でもめずらしい屋内保管も完備し、陸置き、海上係留の三形態で保管しております。艇の上下架は平成17年に新設置した22トンクレーンで行っております。各種舟艇の保管、艇の様々なメンテナンス修理、艀装、改造等は、屋内整備場も完備し営業しております。マリーナ内の艇への給油施設として、ハイオクガソリンと軽油の計量器が



二基設置されており、給油の対応をしております。

横須賀市消防局、南消防署、横須賀危険物安全協会の皆様に、ご指導を戴きながら、安全運行に勤めて参る所存で御座います。協会員の皆様の、ご発展、ご活躍をお祈り申し上げます事と、お近くにお立寄りの際は、レストランで海を眺めながらコーヒブレークで、おくつろぎ戴きご利用下さい。

平成 27 年度危険物安全週間推進標語

無事故へと 気持ち集中 はっけよい

平成 27 年度全国統一防火標語

無防備な 心に火災が かくれんぼ

平成 27 年中の横須賀市内における火災・救急出場件数等

(横須賀市消防局 平成 27 年消防活動速報より)

火災件数					
平成 27 年中			平成 26 年中		
順位	原因	件数	順位	原因	件数
1	放火 (放火の疑い含む)	26	1	放火 (放火の疑い含む)	30
2	電気関係	20	2	電気関係	27
3	こんろ	14	3	こんろ	14
3	たばこ	14		合計	132
	合計	118			

火災による死傷者数		
	H27	H26
死者	3人	12人
負傷者	15人	25人
合計	18人	37人

救急出場件数		
	H27	H26
急病	15,760	15,547
一般負傷	3,569	3,305
交通事故	1,382	1,369
労働災害	121	165
火災	65	79
その他	2,063	2,231
合計	22,960	22,696



**住宅用火災警報器は定期的な作動確認
とお手入れが必要です。**



定期的に作動確認をしましょう。

住宅用火災警報器は電池が切れると作動しなくなります。

汚れていたらお手入れをしましょう。

警報器はホコリなどが付くと誤作動する場合があります。

平成 27 年度 後期 危険物取扱者保安講習会 (横須賀会場)

日時 平成 28 年 2 月 23 日(火) 午前…1種(給油) 午後…3種(一般)

会場 横須賀市日の出町1-5

横須賀市立勤労福祉会館(ヴェルクよこすか)

備考 その他の会場の日程や空席状況等は、(一社)神奈川県危険物安全協会連合会のホームページでご確認ください。

アドレス …<http://www32.ocn.ne.jp/~sinkiren/>

発行日

平成 28 年 2 月 17 日

発行者

横須賀危険物安全協会

会長 渡辺 晴夫

〒238-8550

横須賀市小川町 11 番地

電話 046(821)6476